

- 相関, 第 19 回日本内分泌病理学会 学術総会, 2015 年
4. 藤沢治樹、梶村益久、溝口博之、竹内英之、高木博史、泉田久和、中島孝太郎、竹内誠治、岩間信太郎、有馬寛: 慢性低ナトリウム血症はラットにおいて神経心理学的異常をきたす, 第 42 回日本神経内分泌学会 第 23 回日本行動神経内分泌研究会 合同学術集会, 2015 年
 5. 泉田久和、梶村益久、高木博史、中島孝太郎、竹内誠治、岩間信太郎、有馬寛: 慢性副腎不全低 Na 血症ラットモデルにおける中枢神経障害の解析, 第 42 回日本神経内分泌学会 第 23 回日本行動神経内分泌研究会 合同学術集会, 2015 年
 6. 岩間信太郎、Alessandra De Remigis、Patrizio Caturegli、梶村益久、大磯ユタカ: イピリムマブによる二次性下垂体炎患者における抗下垂体抗体の解析, 第 88 回日本内分泌学会学術総会, 2015 年
 7. 岩田尚子、岩間信太郎、梶村益久、中島孝太郎、竹内誠治、泉田久和、藤沢治樹、高木博史、有馬寛、大磯ユタカ: ヒトまたはラット下垂体切片を用いた抗下垂体抗体測定法の有用性に関する検討, 第 88 回日本内分泌学会学術総会, 2015 年
 8. 竹内誠治、梶村益久、岩田尚子、中島孝太郎、泉田久和、藤沢治樹、高木博史、岩間信太郎、須賀英隆、大磯ユタカ: SNAP25 と相互作用する 128kDa 蛋白の同定と、ES-AVP 培養系を用いたバゾプレシン分泌における機能解析, 第 88 回日本内分泌学会学術総会, 2015 年
 9. 泉田久和、梶村益久、高木博史、藤沢治樹、岩田尚子、中島孝太郎、竹内誠治、落合啓史、難波隆志、岩間信太郎、有馬寛、大磯ユタカ: 慢性副腎不全低 Na 血症ラットモデルにおける中枢神経障害の解析, 第 88 回日本内分泌学会学術総会, 2015 年
 10. Shintaro Iwama, Naoko Iwata, Yoshihisa Sugimura, Kohtaro Nakashima, Seiji Takeuchi, Hiroshi Takagi, Hiroshi Arima, Teruhiko Koike, Yoshiharu Oshida, Patrizio Caturegli, and Yutaka Oiso. Comparison of Human and Rat Pituitary Gland Substrates for the Detection of Serum Pituitary Antibodies in Patients with Biopsy-Proven Lymphocytic Hypophysitis. ENDO 2015 (97th Annual Meeting of the Endocrine Society), 2015.
- ・島津章
1. 島津章: 特別講演 1「間脳下垂体疾患の診療: 最近のトピックス」, 第 18 回心樹代謝内分泌研修会, 北海道, 2016 年 3 月.
 2. 島津章 特別講演「日常診療に潜む下垂体疾患」, 倉敷地区 内分泌セミナー, 岡山, 2016 年 1 月.

3. Shimatsu A, Sauter N, Kelly R, Unge P, Zhi X, Fleseriu M. Phase III, multicenter, double-blind, randomized withdrawal study of osilodrostat (LCI699) in patients with Cushing's disease (CD): A study design. European Congress of Endocrinology (ECE) 2015, Dublin, Republic of Ireland, 2015,5.
 4. 廣田圭昭, 垣田真以子, 小笠原辰樹, 馬越洋宜, 横田美紀, 中谷理恵子, 立木美香, 田上哲也, 成瀬光栄, 青木友和, 白井健, 島津章: 両側難治性中耳炎を契機に診断し得た ANCA 関連血管炎性肥厚性硬膜炎・下垂体炎の一例, 第 88 回日本内分泌学会学術総会, 東京, 2015 年 4 月.
 5. 服部尚樹, 石原隆, 山上啓子, 島津章: 潜在性甲状腺機能低下症におけるマクロ TSH 血症の検討, 第 88 回日本内分泌学会学術総会, 東京, 2015 年 4 月.
 6. 島津章: 間脳下垂体機能障害における診療ガイドライン作成に関する研究班からの報告「厚生労働省 難治性疾患克服研究事業 各研究班報告」, 第 88 回日本内分泌学会学術総会, 東京, 2015 年 4 月.
- G. 知的財産権の出願・登録状況
(予定も含む)
1. 特許取得
該当なし
 2. 実用新案登録
該当なし
 3. その他
該当なし

資料14. 自己免疫性視床下部下垂体炎の治療の手引き

1. 下垂体の腫大が著明で、腫瘍による圧迫症状（視力、視野の障害や頭痛）がある場合は、グルココルチコイドの薬理量（プレドニン換算で 1mg/kg 体重/日、高齢の場合や病態に応じて $0.6\text{--}1.0\text{mg/kg}$ 体重/日で調節する）を投与し、症状の改善が認められれば漸減する。病態によってはステロイドパルスあるいはミニパルス療法を検討する。症状の改善が認められない場合は生検とともに腫瘍の部分切除による減圧を試みる。ステロイド抵抗性あるいは依存性の場合には免疫抑制剤の併用を考慮する。
2. 下垂体の腫大による圧迫症状が認められない場合で、下垂体-副腎系の機能低下（や尿崩症）が認められる場合は、グルココルチコイドの補充療法を試みる。急性期であれば、薬理量を試みることも勧められるが、結核などの感染症を十分に除外する必要がある。
3. 下垂体腫大による圧迫症状がなく下垂体機能の低下が認められない場合は、MRIなどによって下垂体腫瘍の形態学的変化を経過観察する。
4. 下垂体機能低下症、尿崩症の評価を行い適切なホルモン補充療法を行う。
5. リンパ球性下垂体炎の診断は基本的に除外診断による。したがって類似病変を示す諸疾患の鑑別が重要であり、ステロイド治療前に病変部の組織学的検索が望まれる。

II. 研究成果の刊行に関する一覧表（平成 27 年度）

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
有馬寛	高張食塩水負荷試験 高ナトリウム血症 抗利尿ホルモン不適合症候群		南山堂医学大辞典	南山堂	日本	2015.4	806-815-833
有馬寛	先天性腎性尿崩症		難治性内分泌代謝疾患 Update	診断と治療社	日本	2015.12	141-142
有馬寛	中枢性尿崩症		今日の治療指針	医学書院	日本	2016.1	800-801
有馬寛	のどの渇きが突然出現した 53 歳女性		New 専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 内分泌疾患	日本医事新報社	日本	2016.3	45-50
田原重志、森田明夫	脳・脊髄腫瘍摘出のための引き出し - 腫瘍摘出のコツとピットフォール II. 各論 下垂体腺腫の被膜外摘出		新 NS Now	メジカルビュー社	日本	2015.11	136-145
高橋裕	成長ホルモン		医学大辞典	南山堂	日本	2015	1351
高橋裕	インスリン様成長因子		医学大辞典	南山堂	日本	2015	159
高橋裕	増殖因子		医学大辞典	南山堂	日本	2015	1461-1462

高橋裕	成人成長ホルモン分泌不全症		医学大辞典	南山堂	日本	2015	1337
高橋裕	成長ホルモン単独欠損症		医学大辞典	南山堂	日本	2015	1352
高橋裕	下垂体前葉ホルモン単独欠損症		医学大辞典	南山堂	日本	2015	367
高橋裕	ラローン型低身長症		医学大辞典	南山堂	日本	2015	2521
高橋裕	下垂体性巨人症と先端巨大症		今日の小児治療指針	医学書院	日本	2015	236-237
高橋裕	ホルモンとアンチエイジング 視床下部下垂体ホルモン		第3版 アンチエイジング医学の基礎と臨床	日本抗加齢医学学会メジカルビュー社	日本	2015	104-105
高橋裕	成長ホルモン分泌不全性低身長症		内科学第11版	朝倉書店	日本	2015	
高橋裕	成人成長ホルモン分泌不全症		内科学第11版	朝倉書店	日本	2015	
高橋裕	下垂体成長ホルモン分泌亢進症		難治性内分泌代謝疾患 Update	診断と治療社	日本	2015	23-26
高橋裕	脳神経外科医が知っておきたい薬物療法の考え方と実際 ホルモン補充薬		脳神経外科診療プラクティス	文光堂	日本	2015	156-157
片上秀喜	周期性クッシング症候	平田結喜緒	クッシング症候群診療マニュアル改訂第2版	診断と治療社	日本	2015 12	
片上秀喜	ACTH		臨床検査ガイド 2015 年改訂版	文光堂	日本	2015 4	

<u>片上秀喜</u>	ACTH 単独欠損症		医学大辞典 第 20 版	南山堂	日本	2015 4	
<u>片上秀喜</u>	GHRH		医学大辞典 第 20 版	南山堂	日本	2015 4	
<u>片上秀喜</u>	下垂体炎		医学大辞典 第 20 版	南山堂	日本	2015 4	
<u>島津章</u>	プロラクチン放出促進因子, プロラクチン放出抑制因子, 下垂体, 先端巨大症		南山堂医学大辞典 第 20 版	南山堂	日本	2015 4	
<u>島津章</u> (訳)	26 視床下部と下垂体の薬理	渡邊裕司	ハーバード大学講義テキスト 臨床薬理学 原書 3 版	丸善出版	日本	2015 6	542-557
横田美紀, <u>島津章</u> (訳)	29 生殖の薬理学	渡邊裕司	ハーバード大学講義テキスト 臨床薬理学 原書 3 版	丸善出版	日本	2015 6	590-612
<u>島津章</u>	1. 中枢神経病変 (1) 病態, (2) 病理, (3) 検査・診断, (4) 治療と予後	岡崎和一, 川茂幸	臨床医必読 最新 IgG4 関連疾患	診断と治療社	日本	2015 10	40-45
<u>島津章</u>	自己免疫性視床下部下垂体炎 (含、IgG4 関連下垂体炎)		別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No. 34 「免疫症候群(第 2 版)―その他の免疫疾患を含めて― I」		日本	2015 11	252-258

横田美紀, <u>島津章</u>	下垂体性 TSH 分泌異常症	尾崎承一	難病辞典	学研メディカル秀潤社	日本	2015 12	383-386
<u>岩崎泰正</u>		下垂体機能低下症	医学大辞典	南山堂	日本	2015	366
次田誠, <u>岩崎泰正</u>	下垂体 ADH 分泌異常症	成瀬光栄, 平田結喜緒, 田辺晶代	難治性内分泌代謝疾患 Update	診断と治療社	日本	2015	31-34
<u>岩崎泰正</u>	機能検査総論	成瀬光栄, 平田結喜緒, 島津章	内分泌代謝専門医ガイドブック改訂第 4 版	診断と治療社	日本	2016 3	54-55

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Arima H</u> , Azuma Y, Morishita Y, Hayashi M, Hagiwara D	Formation of Endoplasmic Reticulum-Associated Compartment in Vasopressin Neurons: A Mechanism by Which Endoplasmic Reticulum Stress is Reduced	Interdisciplinary Information Sciences	21(3)	173-180	2015,9
Lu W, Hagiwara D, Morishita Y, Tochiya M, Azuma Y, Suga H, Goto M, Banno R,	Unfolded protein response in hypothalamic cultures of wild-type and ATF6 α -knockout mice	Neuroscience Letters	612	199-203	2016,1

<u>Sugimura Y</u> , Oyadomari S, Mori K, <u>Arima H</u>					
岩間信太 郎、 <u>有馬寛</u>	AVP(特集 下垂体疾患の 診断と治療：現状と課題)	ホルモンと臨 床	62(4)	305- 311	2016 年 3 月
Iwama S, <u>Sugimura Y</u> , Kiyota A, Kato T, Enomoto A, Suzuki H, Iwata N, Takeuchi S, Nakashima K, Takagi H, Izumida H, Ochiai H, Fujisawa H, Suga H, <u>Arima H</u> , Shimoyama Y, Takahashi M, Nishioka H, Ishikawa SE, <u>Shimatsu A</u> , Caturegli P, Oiso Y.	Rabphilin-3A as a Targeted Autoantigen in Lymphocytic Infundibulo- neurohypophysitis.	J Clin Endocrinol Metab.	100	E946- 954	2015,7
<u>Yamada S</u> , Inoshita N, Fukuhara N, Yamaguchi- Okada M, Nishioka H, Takeshita A,	Therapeutic outcomes in patients undergoing surgery after diagnosis of Cushing's disease: A single-center study.	Endocr J.	62(12)	1115- 1125	2015,12

Suzuki H, Ito J, Takeuchi Y.					
柳瀬 敏彦, 笠山 宗正, 岩崎 泰正, 宗 友厚, 菅 原 明, 沖 隆, 長谷川 奉延, 中川 祐一, 宮村 信博, 清水 力, 方波見 卓行, 田島 敏広, 野村 政壽, 大月 道夫, 棚橋 祐典, 田邊 真紀人, 明 比 祐子, 高 柳 涼一, 成 瀬 光栄, 西 川 哲男, 笹 野 公伸, 勝 又 規行, 柴 田 洋孝, 山 田 正信, 武 田 仁勇, 曾 根 正勝, 三 宅 吉博, 佐 藤 文俊, 上 芝 元, 日本 内分泌学会, 日本小児内 分泌学会, 日本ステロ	副腎クリーゼを含む副腎 皮質機能低下症の診断と 治療に関する指針.	日本内分泌学 会雑誌	91	1-78	2015

イドホルモン学会, 厚生労働科学研究費補助金政策研究事業「副腎ホルモン産生異常に関する調査研究」班, 「副腎クリーゼを含む副腎皮質機能低下症の診断と治療に関する指針」作成委員会					
Terawaki Y, Murase K, Motonaga R, Tanabe M, Nomiya T, Shakado S, Mizoguchi M, Sakisaka S, <u>Yanase T.</u>	A Probable Case of Burn-out NASH Caused by Panhypopituitarism Secondary to Craniopharyngioma.	Fukuoka Igaku Zasshi.	107(3)	53-61	2016,3
Kaira K, Nakamura K, Hirakawa T, Imai H, Tominaga H, Oriuchi N, Nagamori S, Kanai Y,	Prognostic significance of L-type amino acid transporter 1 (LAT1) expression in patients with ovarian tumors.	Am J Transl Res.	7(6)	1161-1171	2015,6

Tsukamoto N, Oyama T, Asao T, <u>Minegishi T.</u>					
Nakao K, Kishi H, Imai F, Suwa H, Hirakawa T, <u>Minegishi T.</u>	TNF-alpha Suppressed FSH-Induced LH Receptor Expression Through Transcriptional Regulation in Rat Granulosa Cells.	Endocrinology .	156(9)	3192-3202	2015,9
Oike T, Ohno T, Noda SE, Murata T, Hirakawa T, Hirato J, Furuya M, Sato H, Hirota Y, <u>Minegishi T.</u> , Nakano T.	Leptomeningeal metastasis of uterine cervical cancer 17 years after primary tumor treatment.	Clin Case Rep.	4(1)	54-61	2015,11
Nishimura T, Nakamura K, Yamashita S, Ikeda S, Kigure K, <u>Minegishi T.</u>	Effect of the molecular targeted drug, erlotinib, against endometrial cancer expressing high levels of epidermal growth factor receptor.	BMC Cancer.	15(1)	957	2015,12
Takayama Y, Matsumura N, Nobusawa S, Ikota H, <u>Minegishi T.</u> , Yokoo H.	Immunophenotypic features of immaturity of neural elements in ovarian teratoma.	Virchows Arch	468(3)	337-343	2016,3

Fujio S, Bunyamin J, Hirano H, Oyoshi T, Sadamura Y, Bohara M, <u>Arita K</u>	A novel bilateral approach for suprasellar arachnoid cysts: A case report	Pediatric Neurosurgery	51(1)	30-34	2016,1
Tamada D, Kitamura T, Onodera T, Hamasaki T, <u>Otsuki M</u> , Shimomura I	Clinical significance of fluctuations in thyroid hormones after surgery for Cushing's syndrome.	Endocr J.	62(9)	805- 810	2015,9
Tamada D, Kitamura T, Takahara M, Oshino S, Saitoh Y, <u>Otsuki M</u> , Shimomura I	Postoperative changes in bone metabolism and bone mineral density in Japanese patients with acromegaly: a 3-year prospective study.	Endocr J.	62(11)	1031- 1036	2015,11
Tamada D, Kitamura T, <u>Otsuki M</u> , Oshino S, Saitoh Y, Shimomura I:	Clinical significance of screening for subclinical Cushing's disease in patients with pituitary tumors.	Endocr J.	63(1)	47-52	2016,1
<u>大月道夫</u>	治療（糖質コルチコイド 補充療法） 過剰糖質コル チコイド(GC)補充療法の 弊害 副腎クリーゼを含む 副腎皮質機能低下症の診 断と治療に関する指針.	日本内分泌学 会雑誌	Vol.91	Suppl. 46-47	2015,9
<u>大月道夫</u> 、 玉田大介、 北村哲宏	コルチゾールに関係した SITSH.	ACTH RELATED PEPTIDE	Vol.26	62-63	2015

Nakagawa A, Ogawa Y, Amano K, Ishii Y, <u>Tahara S</u> , Horiguchi K, Kawamata T, Yano S, Arafune T, Washio T, Kuratsu J, Saeki N, Okada Y, Teramoto A, Tominaga T.	Pulsed Laser-induced Liquid Jet System for Treatment of Sellar and Parasellar Tumors: Safety Evaluation.	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg	76(6)	473-482	2015,11
Hattori Y, <u>Tahara S</u> , Nakakuki T, Takei M, Ishii Y, Teramoto A, Morita A.	Sellar Chondroma with Endocrine Dysfunction that Resolved after Surgery: Case Report.	J Nippon Med Sch.	82(3)	146-150	2015,7
Ishii Y, <u>Tahara S</u> , Hattori Y, Teramoto A, Morita A, Matsuno A.	Fascia patchwork closure for endoscopic endonasal skull base surgery.	Neurosurg Rev.	38(3)	551-556	2015,7
<u>田原重志</u> 、 <u>森田明夫</u>	特集 脳腫瘍—標準治療と先進医療（パート1） （3）脳下垂体腺腫の診断と治療	季刊「ライフライン 21 がんの先進医療」	20 号	22-25	2016 年 1 月
Nakamura A, Mitsuhashi	Usefulness of the octreotide test in Japanese patients for predicting the	Endocr J	63(2)	135-142	2016,2

T, Takano Y, Miyoshi H, Kameda H, Nomoto H, Nagai S, Hatanaka Y, <u>Shimizu C,</u> Terauchi Y, Atsumi T.	presence/absence of somatostatin receptor 2 expression in insulinomas.				
Saito- Hakoda A, Urano A, Yokoyama A, Shimizu K, Parvin R, Kudo M, Saito-Ito T, Sato I, Kogure N, Suzuki D, Shimada H, Yoshikawa T, Fujiwara I, Kagechika H, Iwasaki Y, Kure S, Ito S, <u>Sugawara A.</u>	Effects of RXR Agonists on Cell Proliferation/Apoptosis and ACTH Secretion/Pomc Expression.	PLoS One	10(12)	e0141 960	2015,12
Taniguchi M, Hosoda K, Akutsu N, <u>Takahashi Y,</u> Kohmura E.	Endoscopic endonasal transsellar approach for laterally extended pituitary adenomas -Volumetric analysis of cavernous sinus invasion.	Pituitary.	18(4)	518- 524	2015,8
Yamamoto M, Fukuoka	The prevalence and associated factors of	Pituitary.	18(3)	343- 351	2015,1

H, Iguchi G, Matsumoto R, Takahashi M, Nishizawa H, Suda K, Bando H, <u>Takahashi Y.</u>	colorectal neoplasms in acromegaly: a single center based study.				
Bando H, Iguchi G, Fukuoka H, Taniguchi M, Kawano S, Saitoh M, Yoshida K, Matsumoto R, Suda K, Nishizawa H, Takahashi M, Morinobu A, Kohmura E, Ogawa W, <u>Takahashi Y.</u>	A diagnostic pitfall in IgG4-related hypophysitis: Infiltration of IgG4- positive cells in the pituitary of granulomatosis with polyangiitis.	Pituitary.	18(5)	722- 730	2015,10
Nagai H, Fujiwara S, <u>Takahashi Y,</u> Nishigori C.	Ameliorating effect of the novel dipeptidyl peptidase-4 inhibitor teneligliptin on psoriasis: A report of two cases.	J Dermatol.	42(11)	1094- 1097	2015,11
Hirata Y, Fukuoka H, Iguchi G, Iwahashi Y, Fujita Y,	Median-lower normal levels of serum thyroxine are associated with low triiodothyronine levels and body temperature in	Eur J Endocrinol.	173(2)	247- 256	2015,8

Hari Y, Iga M, Nakajima S, Nishimoto Y, Mukai M, Hirota Y, Sakaguchi K, Ogawa W, <u>Takahashi Y.</u>	patients with central hypothyroidism.				
Yoshida K, Fukuoka H, Matsumoto R, Bando H, Suda K, Nishizawa H, Iguchi G, Ogawa W, Webb SM, <u>Takahashi Y.</u>	The quality of life in acromegalic patients with biochemical remission by surgery alone is superior to that in those with pharmaceutical therapy without radiotherapy, using the newly developed Japanese version of the AcroQoL.	Pituitary	18(6)	876-883	2015,12
Matsumoto R, Fukuoka H, Iguchi G, Odake Y, Yoshida K, Bando H, Suda K, Nishizawa H, Takahashi M, Yamada S, Ogawa W, <u>Takahashi Y.</u>	Accelerated telomere shortening in Acromegaly; IGF-I induces telomere shortening and cellular senescence.	PLoS One	10(10)	e0140189	2015,10
<u>高橋裕</u>	ホルモン測定系の問題と疾患 GH/IGF-I	ホルモンと臨床	61	43-47	2015
<u>高橋裕</u>	新たな自己免疫病の発見「抗 PIT-1 抗体症候群」	臨床病理	4	491-497	2015

<u>高橋裕</u>	先端巨大症の QOL と生命予後	ホルモンと臨床	63	3-6	2015
<u>高橋裕</u>	内分泌マスタークリニシヤン	ホルモンと臨床	62	8-14	2015
Ohara N, <u>Katakami H</u> , Kamoi K.	Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis Following Treatment for Cushing's Syndrome	Internal Medicine	55(4)	394	2016,2
<u>片上秀喜</u> , 奈須和幸, 橋田誠一, 松野彰, 山田正三	Cushing 病, 先端巨大症あるいは非機能性下垂体腺腫の手術症例における術野血あるいは海綿静脈洞血と末梢血中の CRH, ACTH, GHRH, SST と GH 濃度	ACTH RELATED PEPTIDES	26	14-16	2015 年 10 月
鈴木 美菜子, 山上 啓子, 吉岡 茉依子, 薬師寺 洋介, 玉井 杏奈, 吉田 陽子, 上野 宏樹, 川崎 勲, 細井 雅之, 岩井 謙育, <u>片上秀喜</u> , 金本 巨哲	大分子型 ACTH 産生下垂体腫瘍による subclinical Cushing 病の 1 例	日本内分泌学会雑誌	91(1)	257	2015 年 4 月
Hattori N, Ishihara T, Yamagami K, <u>Shimatsu A</u>	Macro TSH in patients with subclinical hypothyroidism	Clinical Endocrinology (Oxf)	83(6)	923-930	2015,12
Habu M, Tokimura H,	Pituitary metastases - Current practice in Japan -	Journal of Neurosurgery	123(4)	998-1007	2015,10

Hirano H, Yasuda S, Nagatomo Y, Iwai Y, Jokura H, Tatewaki K, Yunoue S, Campos F, Kinoshita Y, <u>Shimatsu A</u> , Teramoto A, Arita K.					
<u>Shimatsu A</u> , Iwamoto N, Tanaka T, Teramoto A, Taketsuna M, Ihara K, Funai J, Irie M, Chihara K.	Possible predictors for QOL improvement following GH replacement therapy in adult GHD	Endocrine Journal	62(8)	749- 756	2015,8
Sawada Y, Ishii S, Koga Y, Tomizawa T, Matsui A, Tomaru T, Ozawa A, Shibusawa N, Satoh T, Shimizu H, Hirato J, <u>Yamada M.</u>	Reversible Hypopituitarism Associated with Intravascular Large B-Cell Lymphoma: Case Report of Successful Immunotherapy.	Tohoku J Exp Med.	238(3)	197- 203	2016,3
<u>沖隆</u>	【内科疾患の診断基準・ 病型分類・重症度】(第 10 章)代謝・内分泌 下垂体	内科	115 巻 6 号	1344- 1346	2015 年 6 月

	後葉機能異常(CDI・SIADH).				
柿沢圭, 大川雄, 大石敏, 山下美, 佐々木茂, 佐橋徹, 遠山和, <u>沖隆</u>	エクルーシス試薬コルチゾール II を用いた血中コルチゾール測定の基礎的検討	医学と薬学	Vol.73	71-76	2015 年
Kageyama K, Sugiyama A, Murasawa S, Asari Y, Niioka K, <u>Oki Y</u> , Daimon M	Aphidicolin inhibits cell proliferation via the p53-GADD45beta pathway in AtT-20 cells	Endocr J	62(7)	645-654	2015
Nakada Y, Kageyama K, Sugiyama A, Desaki R, Takayasu S, Niioka K, Murasawa S, Ishigame N, Asari Y, <u>Iwasaki Y</u> , Daimon M	Inhibitory effects of trichostatin A on adrenocorticotrophic hormone production and proliferation of corticotroph tumor AtT-20 cells.	Endocr J	62(12)	1083-1090	2015,12
Saito-Hakoda A, Uruno A, Yokoyama A, Shimizu K, Parvin R, Kudo M, Saito-Ito T, Sato I,	Effects of RXR Agonists on Cell Proliferation/Apoptosis and ACTH Secretion/Pomc Expression.	PLoS One	10(12)	e0141960	2015,12

Kogure N, Suzuki D, Shimada H, Yoshikawa T, Fujiwara I, Kagechika H, <u>Iwasaki Y</u> , Kure S, Ito S, Sugawara A					
Okawa T, Yoshida M, Usui T, Kudou T, <u>Iwasaki Y</u> , Fukuoka K, Takahashi N, Uehara Y, Oiso Y.	A novel loss-of-function mutation of GATA3 (p.R299Q) in a Japanese family with Hypoparathyroidism, Deafness, and Renal Dysplasia (HDR) syndrome.	BMC Endocr Disord	15	66	2015,10
<u>Iwasaki Y</u> , Itoi K.	Transcriptional regulation of vasopressin Gene	Interdisciplina ry Information Sciences	21		2015
小笠原祐 記、中山修 一、西山充、 岩崎泰正、 岡崎瑞穂、 次田誠、田 口崇文、辛 島尚、執印 太郎、寺田 典生	副腎皮質腺腫を合併した 巨大後腹膜神経鞘腫の 1 例	ACTH RELATED PEPTIDES	26	90-92	2015